

要請番号 (JL51516B14)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ケニア	G159 数学教育		個別	新規	2年	・ 2017/2 ・ 2017/3



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育・科学技術省

2) 配属機関名 (日本語)

マイ・ア・イヒイ中等学校

3) 任地 (キアンブ・カウンティ、キクユ) JICA事務所の所在地 (ナイロビ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 1.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は2004年に開校した公立中等学校(4年制、日本の中学3年から高校3年相当)で、生徒は14歳から18歳、全校生徒数約200名、各学年1クラスずつで45名から55名程度、教職員数は18名。1日9コマ、1コマ40分で時間割が組まれている。寄宿生はおらず、全員通学している。課外活動には進路相談・ガイダンス、宗教関係の講義、スポーツなどがあり、不定期に実施されている。
生徒の家庭環境は、多くの家庭は土地を持たず、ナイロビでの日雇いか小作農を生業としており、裕福な地域ではない。しかし、授業料の分納を認めるなど、教職員の努力により学費未納による退学者はほとんど出ていない。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

同地域には経済的に余裕のない家庭が多く、教育への関心度は低い。生徒自身も教育よりもお金を稼ぐことに惹かれる傾向があり、学習意欲が高いとは言えない。同校の中等教育修了国家試験の結果は、地域内16の中等学校の内、常に10番以下という状況である。現在の校長は、2年前に着任して以来、生徒の成績向上を目標としている。そのためには生徒の学習意欲向上が必須であり、「授業の質の向上」と「教員と生徒のより良い関係の構築」を提供したいと考えている。校長自身、学生時代に青年海外協力隊員(JV)の授業を受け、わかりやすい授業と教員と何でも話せる関係が学習意欲につながったという経験を持つ。
配属先にJVを受け入れ、生徒たちには校長と同じ経験を、教員には生徒との接し方の見本を示してほしいと本要請に至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 1年生、2年生(日本の中学3年、高校1年に相当)の数学の授業を担当し、生徒の学力向上に貢献する。
- 教職員とともに、進路相談やスポーツなどの課外活動に取り組む。
- 現在実施されていない活動(音楽、美術、手工芸等)も、JVの趣味を活用して指導できることがあれば実施する。
- 生徒の学力・意欲の向上、教員の生徒指導・対応の向上につながると思われる活動を配属先に提案し、実践する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

教室、黒板、チョーク、教科書、職員室の事務机、イス、必要なら実験室、実験器具(ピーカー、シリンダー等)

4) 配属先同僚及び活動対象者

【教職員】

教員11名、事務員やキッチンスタッフが7名(教員は学士、30代から50代が中心)

【生徒】
1年生、2年生の男女、約100名(14歳から16歳が中心)

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

スワヒリ語

7) 選考指定言語

英語(レベル:B)

【資格条件等】

[免許]：(中学教員(数学))
(高校教員(数学))

[学歴]：() 備考：

[性別]：() 備考：

[経験]：(指導経験) 2年以上 備考：学習指導を求められているため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(温帯気候) 気温：(10～30℃位)

[電気]：(不安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(不安定)

【特記事項】